
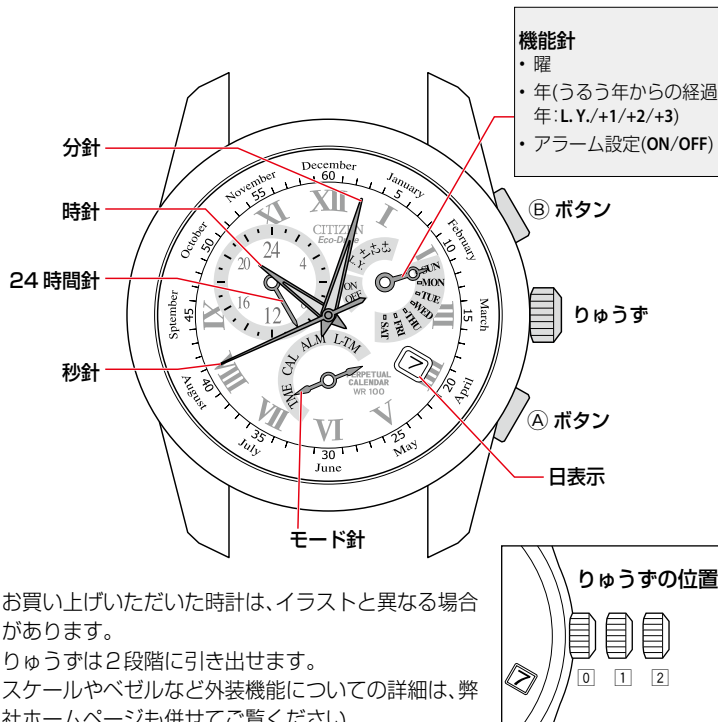


- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  E870/E871 取扱説明書

各部の名称



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- りゅうずは2段階に引き出せます。
- スケールやベゼルなど外装機能についての詳細は、弊社ホームページも併せてご覧ください。
(<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>)

モードを切り替える

この時計には、次の4つのモードがあります。

| | |
|------|---|
| TME | 通常の時刻が表示されます。 |
| CAL | カレンダーが表示されます。秒針が月を指し、機能針が曜を指します。 • ⑥ボタンを押している間、機能針がうるう年からの経過年(L.Y./+1/+2/+3)を指します。経過年について詳しくは、 カレンダーを合わせる をご覧ください。 |
| ALM | アラーム時刻が表示されます。 |
| L-TM | ローカルタイムが表示されます。 • 日表示と曜は、[TME]の表示時刻に従います。 |

- 1 りゅうずの位置を ① にする
秒針が30秒を指して停止します。
- 2 りゅうずを回して、モードを切り替える
• モード針がモード表示の目盛を確実に指すように、りゅうずを回します。
- 3 りゅうずの位置を ② にして、終了する
時計の各表示が、選んだモードの表示に切り替わります。
• 表示の切り替えに時間がかかる場合があります。

時刻を合わせる

モードが[TME]のときの時刻を合わせます。

- [L-TM]の時刻は、[TME]との時差に応じて修正されます。

- 1 モードを [TME] にして、りゅうずの位置を ② にする
秒針が0秒を指して停止します。
- 2 りゅうずを回して、時刻を合わせる
• 時針/分針/24時間針は連動します。
• 午前/午後は、24時間針で確認します。
• りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 3 時報に合わせて、りゅうずの位置を ① にして終了する

カレンダーを合わせる

モードが[TME]のときのカレンダーを合わせます。

- 1 モードを [CAL] にして、りゅうずの位置を ② にする
秒針が月を指し、機能針が経過年を指します。
- 2 ⑥ ボタンをくり返し押して、合わせる針 / 表示を選ぶ
• ⑥ ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。
• 年 → 月 → 日 → 曜 → (始めに戻る)
- 3 りゅうずを回して、針 / 表示を合わせる
• 年は、下表を参考に、うるう年からの経過年数を設定します。

| 年 | | | | 機能針の表示 | 経過年数 |
|------|------|------|------|--------|----------|
| 2024 | 2028 | 2032 | 2036 | L. Y. | 0 (うるう年) |
| 2025 | 2029 | 2033 | 2037 | +1 | 1 |
| 2026 | 2030 | 2034 | 2038 | +2 | 2 |
| 2027 | 2031 | 2035 | 2039 | +3 | 3 |

- うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧ください。
(<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>)
- 日表示は、機能針が4回転すると切り替わります。

- 4 手順 2 と 3 をくり返す
- 5 りゅうずの位置を ① にして、終了する

ローカルタイムを設定する

モードが[TME]のときの時刻に対して、1時間単位の時差を設定し表示させることができます。

- 時差は、[TME]の時刻に対して±23時間の範囲で設定できます。

- 1 モードを [L-TM] にして、りゅうずの位置を ② にする
ローカルタイムが表示されます。
- 2 りゅうずを回して、時針を合わせる
• 時針は1時間ごとに動き、24時間針も連動して動きます。
• りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 3 りゅうずの位置を ① にして、終了する

基準位置を確認する

- 1 モードを [L-TM] にして、りゅうずの位置を ① にする
- 2 ② ボタンを 10 秒間以上押し続ける
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。移動が始まったら、ボタンを離します。
- 3 基準位置を確認する
正しい基準位置は次のとおりです。
 - ・ 時針/分針/秒針の位置: 0時00分00秒
 - ・ 24時間針: 「24」
 - ・ 日表示の位置: 「1」
 - ・ 機能針の位置: 「SUN」
- 4 ③ ボタンを押して、終了する
ボタンを押さなくても、何もしないまま2分間経過すると、自動でローカルタイムの表示に戻ります。



基準位置がずれているときは、**基準位置を修正する**の手順3に進みます。

基準位置を修正する

- 1 モードを [L-TM] にして、りゅうずの位置を ① にする
- 2 ② ボタンを 10 秒間以上押し続ける
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。移動が始まったら、ボタンを離します。
- 3 りゅうずの位置を ② にする
- 4 ③ ボタンをくり返し押して、修正する針 / 表示を選ぶ
 - ・ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
秒針 → 時針/分針/24時間針 → 機能針/日表示 → (始めに戻る)
 - ・ 針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
- 5 りゅうずを回して、針 / 表示を修正する
 - ・ 時針/分針/24時間針は連動します。
 - ・ 日表示は、機能針が4回転すると切り替わります。機能針は、日表示が「1」になった直後の「SUN」に合わせます。
 - ・ りゅうずを素早く回転させると、針/表示が連続して動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 6 手順4と5をくり返す
- 7 りゅうずの位置を ① にして、終了する

オールリセットを行う

- 1 モードを [L-TM] にして、りゅうずの位置を ② にする
- 2 ④ ボタンと ③ ボタンを同時に押して、離す
ボタンから手を離すと、操作音が鳴り、オールリセットが行われます。

| オールリセット後の各設定 | |
|--------------|--------------|
| [TME]の時刻 | 午前0時00分00秒 |
| [L-TM]の時刻 | [TME]との時差0時間 |
| カレンダー | うるう年の1月1日曜日 |
| アラーム設定 | 「OFF」 |
| アラーム時刻 | 午前0時00分 |

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせて、時刻とカレンダーを合わせ直してください。